

成同盟会の緊急拡大役員会を開催し、鷹巣町の空港アクセス道路計画区域内で発見された「伊勢堂岱遺跡」について意見交換をいたしました。

席上、県土木部道路建設課からは、十一月十八日に知事がアクセス道路整備計画について「空港アクセス道路はう回させて伊勢堂岱遺跡を現地保存する」とした経緯

平成8年度の農業について

○農作物の作柄状況について

水稲は、春先の低温と六月中旬からの日照不足により、作柄が心配されました。しかし、開花期の八月上旬からは好天に恵まれたことと農家の適切なほ場管理により、最終の作況指数は103の「やや良」となりました。

緯説明がありました。また、県教育庁文化課からは「文化庁や縄文遺跡の研究者などからは第一級の遺跡であるとの高い評価を受けており、地元と協力し国指定の遺跡としたい」との報告もありました。

同盟会においては、この「伊勢堂岱遺跡」を圏域の地域振興、活性化に活かしていくことを確認しています。

また、果樹については、春先の低温によりナシの受粉状況が悪く、小玉化し、収穫量も昨年と比較して六〇%にとどまりました。リンゴは平年並の作柄ですが、八月上旬からの高温により糖度が高く、品質も良いものとなっています。

次に野菜についてですが、春先の低温と天候不順により播種作業が遅れたため、春

野菜の出荷に支障をきたしたほか、山の芋に生育遅れが見られました。その他の野菜については生育中期以降の天候の回復もあり、特に減収は見受けられませんでした。しかし、病原性大腸菌O-157騒動の影響により、キュウリ、トマトなどの生野菜の価格が低迷し、農家にとって苦勞の多い年となりました。

○新生産調整の取り組みについて

今年度は新食糧法が施行されて初めての新生産調整推進対策の年でしたが、転作など目標面積九百二十一ヘクタールを関係農家に一律二四・一%の率でお願いしましたところ、実施面積が九百二十六・二ヘクタール、達成率一〇〇・五六%となりました。目標達成にご協力いただきました関係農家に対し、心から感謝申し上げます。

国道7号大館新橋 架け替え事業について

昭和三十四年に建設された一般国道7号大館新橋は、数度の補修を経て今日にいたっております。しかし、全体的に損傷や老朽化が進行していることから、このたび建設省直轄事業により架け替えることになりました。

事業計画では、新しい橋は幅員十六メートルで、位置、線形、縦断とも現橋と同様であり、工事に当たっては南側に仮橋を建設することになっています。予定では、今年度から来年度にかけて用地の調査、協議、買収を進め、平成九年秋ごろには仮橋工事に着手すると伺っています。



架け替えが決まった大館新橋

その他の行政報告

市では、本事業に関連して新橋及びその周辺の景観整備構想を策定するための検討委員会を設置する予定です。

なお、工事中は周辺住民の皆さんにご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、交通渋滞、騒音、振動などの対策には万全を期していただくことになっていきますので、よろしくご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

▽行政改革大綱の推進について
▽秋のまつり行事について

○本場大館きりたんぽまつりについて
○大館郷土品まつりについて
▽大館ふるさと会について
▽公共事業の進捗状況について